

はらじゅくかわら版



独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センターの理念

私たちは、患者様の人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける患者様中心の医療を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ地域完結型医療を目指します。

私たちは、健全な病院運営を心懸け、患者様がより良い診療が受けられ、地域で選ばれる病院になるべく日々努力していきます。



病院正面

第4号 目次

- 独立行政法人になりました・・・・・・・・・・ 1
- 近隣協力医療施設から・・・・・・・・・・ 2

お知らせコーナー

- 地域医療連携室・・・・・・・・・・ 3
- 医療安全管理室・・・・・・・・・・ 5
- 看護部だより／医療サービス向上委員会から・・・ 6
- 検討会・研究会等の開催・・・・・・・・・・ 6
- クリティカルパス委員会・・・・・・・・・・ 7

シリーズ

- 時節の病気／花粉症・・・・・・・・・・ 8

行事等紹介

- 糖尿病フェア・・・・・・・・・・ 9
- 附属看護学校第39回卒業式・・・・・・・・・・ 9
- 患者数の動向／編集後記・・・・・・・・・・ 10
- 外来診療担当医表／表紙・・・・・・・・・・ 11

発行 月：平成16年4月
発行 行：独立行政法人国立病院機構 横浜医療センター
 広報委員会
発行責任者：高橋 俊毅
住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
電 話：045-851-2621
F A X：045-851-3902
U R L：http://www.hosp.go.jp/ yokoham/

※シリーズ職場紹介及び栄養相談は今号休載します

独立行政法人となりました

国立病院機構 横浜医療センター 院長 高橋 俊毅



平成16年4月1日より当センターは全国154施設と約5万人の職員と共に旧国立病院から単一の独立行政法人国立病院機構に移行しました。正式名称は独立行政法人国立病院機構横浜医療センターという長いものとなります。省略して国立横浜医療センターあるいは単に「横浜医療センター」とさせて頂こうと思っています。独立行政法人は、国として行うべき事務・事業のうち国は企画立案機能（事業の目的と評価）に徹し、実施機能を独立行政法人が担い、事業の実施に責任を持ち、効率的かつ効果的で公共性と透明性さらに自主性を担保してゆくの为目的です。身分は国家公務員型となりますが自己責任、企業会計制度、情報公開、業績給与制度など従来の国立病院で出来なかった運営の改革と職員の意識改革が求められ効率的・効果的に業務を行うこととなります。国立病院機構が目指すものは

1. 患者さまの目線にたち、国民に満足される安心で質の高い医療の提供
2. 各病院の特色を活かした政策医療の提供
3. 臨床研究を通じた情報発

信などわが国の医療向上への貢献

4. 教育研修を通じた質の高い医療人の育成

5. 以上の実現のため、また独立行政法人化の趣旨に沿った経営の効率化のために運営全般にわたる改革と経営基盤の確立

とされています。各々の病院の特色を活かすと共にかんセンターなどナショナルセンターをも網羅する法人内の広汎で質の高い多くの政策医療ネットワークを活かして成果を挙げ国民の付託に応えようということです。当センターは政策医療の中ではまず高度総合医療施設（4月から呼吸器外科が増えて27診療科）に指定され、これを基盤としてさらに、がん、循環器、精神疾患、内分泌・代謝疾患、骨・運動器、肝疾患、長寿医療など多くの疾患での専門医療施設となっており、臨床研修指定病院やエイズ医療や神奈川県災害拠点病院でもあります。救命救急センターや母子医療センターを持ち横浜市では循環器や母児、小児などの二次輪番病院でもあります。今後地域医療重視の視点は変わりませんが、特に救急医療は

組織から根本的に見直し、強化していきます。まず小児救急では4月から医師の増員と地域の医療機関との協力体制を強化しての変則24時間体制として地域医療に貢献したいと考えています。また「女性外来」や「総合内科（診療科）」など特色ある部門の強化にも努めていきます。病院は表紙冒頭に掲げる理念と私を始めとして職員の意識改革や独立行政法人化で広がる自由裁量権を活かした運営で利用していただく方々に支持されるように、「患者様中心の医療」「地域で選ばれる病院になる」「断らない病院に」などを職員に呼びかけています。独立行政法人化を契機に目前となっている建物の更新築やサービスや機能面で一層努力し将来の飛躍の基盤を築きあげたいと願っています。今後より一層叱咤、激励の程をお願い申し上げます。



近隣協力医療施設から

～川上診療所～

診療科目 内科・小児科・皮膚科



当院は戸塚区の北のはずれ、保土ヶ谷区の境近く、横浜新道の川上インター付近に位置しています。内科・小児科・皮膚科を標榜している無床診療所で、地域の家庭医、かかりつけ医といった役どころでしょうか。入院設備もなく、高度な検査機器も持ち合わせていないため、これらの必要な患者さんは近隣の病院にお願いしています。どの病院も気持ちよく迅速に対応していただき、大変感謝しています。戸塚区では歴代医師会長が病院と診療所の連携を推進し、病院も地域連携室を立ち上げ、患者紹介、検査予約などは大変円滑に行われています。しかし、病院の外来を見てみると、午前の外来が昼過ぎてもなお続いている状況です。病院では入院患者、緊急を要する患者、そして高度医療を必要とする患者に力を注ぎ、診療所は外来患者に対応するといった機能分担をさらに進めていく必要があると思います。それには、患者さんから信頼される診療所側の更なる研鑽努力が不可欠です。そして、患者さんにも病院と診療所の役割をよく理解していただき、医療側も患者さんに安心していただける連携体制を築き上げ、限りある医療パワーを、有効に使うようにしたいものです。

本年度から研修医の臨床研修の義務化が始まります。横浜医療センターでも研修医を受け入れる予定とのことです。臨床研修の一端として、診療所、老健施設、訪問看護ステーション等での研修もカリキュラムに入ってきます。将来の医療を担う研修医の方々には地域医療のあり方を考えていただける良い機会かと思えます。

川上診療所 院長 鈴木 隆



川上診療所

〒244-0805 戸塚区川上町359

TEL 045-822-5074 FAX 045-822-5096

診療時間

平日（月～金） 9：00～12：00 15：00～18：00

土 9：00～12：00

休診日：水曜・日曜・祝祭日

地域医療連携室について

横浜医療センター糖尿病チームケアユニットが行う 糖尿病の検査、治療、教育入院の御案内

1. 糖尿病検査、治療、学習入院（2週間コース）

糖尿病性合併症の精査、栄養指導、運動指導、治療を行います

2. 週末三泊四日検査入院

忙しい患者さまのために、糖尿病性合併症の精査、栄養指導、運動指導を、金曜日午後から翌月曜日夕方までに集中して行います。

3. 肥満減量入院

1ヶ月の入院で約10kgの減量を目標にします

入院費の概算（患者様の病状や健康保険などで変わることがあります）

| | 2週間コース | 三泊四日検査入院 |
|--------|---------|----------|
| 3割自己負担 | 90,000円 | 40,000円 |
| 2割自己負担 | 60,000円 | 30,000円 |

老人保健については医事課にお問い合わせください。

●入院の申し込み

かかりつけの医院、病院の医師にご紹介いただくか、直接、独立行政法人 国立病院機構 横浜医療センター 内科外来にお問い合わせください。



| 項目 | お名前 | 種 | 主治医 | 連携室 受け持ち看護師 |
|--------------------------------|---|--|--|--|
| 目的 | 糖尿病の診断が確定できる 食事・運動療法が効果的である | | | |
| 治療・薬剤 (食事・運動 指導) リハビリ | ・お食事については、今お食しているものを お見せください。 ・ウエストとヒップを測定します。 | ・リハビリ運動療法を行います。 ・動きやすい服装でお持ちください。 ・前後に血糖値を測ります。 | | ・3泊4日入院アシートを看護課 にお渡しください。 |
| 検査 | 検査、尿、便、レントゲン、心電 図、血生化学検査があります。 | | ・朝6:00より入院します。 ・食事量記録と1日血糖検査 を行います。前日に詳しく説明し ます。 ・食事量記録の1日400kcal の目安となります。 | ・朝検血があります。 ・10:00朝検血型が異なります。 |
| 食事 | lowのお食事になります。 | | | |
| 施設 | 浜の心もた入浴施設利用にシャワーを借りることも可能です。電話予約をお願いします。 | | | |
| 糖尿病以外の 治療 指導 | ・より実業指導があります。 ご家族の方の参加もお待ち しております。 ・食事療法について糖尿病アン ケートを行います。 ・1日3回より血糖値を行います。 また糖尿病のビデオを見て 学習します。 | ・看護課より糖尿病テキストに おいて日常生活についてお話を いたします。 ・食事療法について糖尿病アン ケートを行います。 ・糖尿病のビデオ を見て学習します。 | | ・13:20より大講義室で糖尿病 教室があります。事後の方も 参加いただけます。 ・糖尿病教室の体験型で糖尿病 アンケートを行います。おからな い事などご確認ください。 ・食事を済ませお帰りでお待ち ください。主治医からお話があり ますの後は退院となります。4日間は お帰りの予定です。 |
| その他 | ビデオアンケートの時間は食 日の血糖値測定にお戻りくださ い。ご都合があれば講師の申し 出ます。 | | | お帰りの後に入院される方だけ は、糖尿病教室の申し込み書 を提出してください。ご都合 が合います。ご連絡 いたします。 |

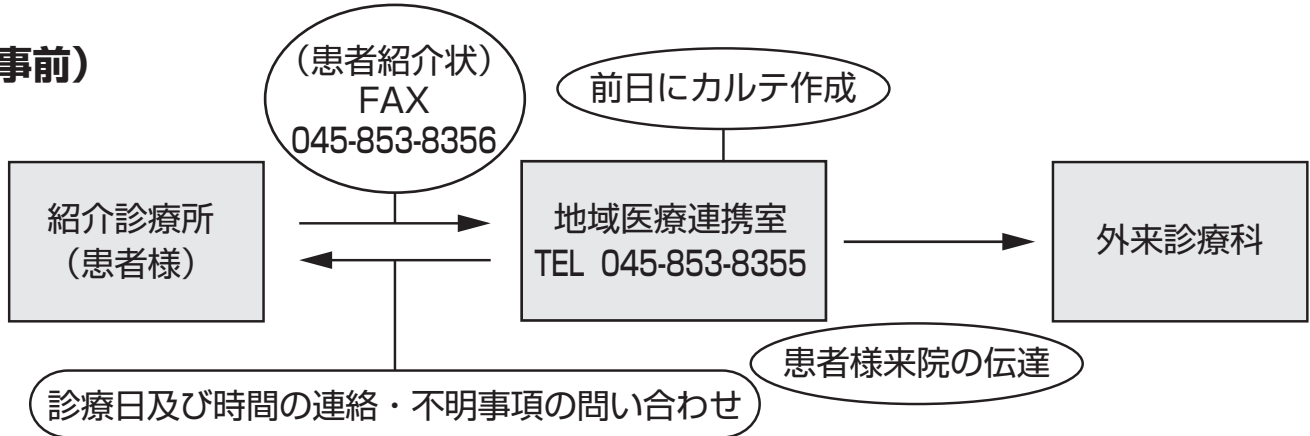
地域医療連携室

TEL. 045-853-8355
FAX. 045-853-8356

内線 (2275)

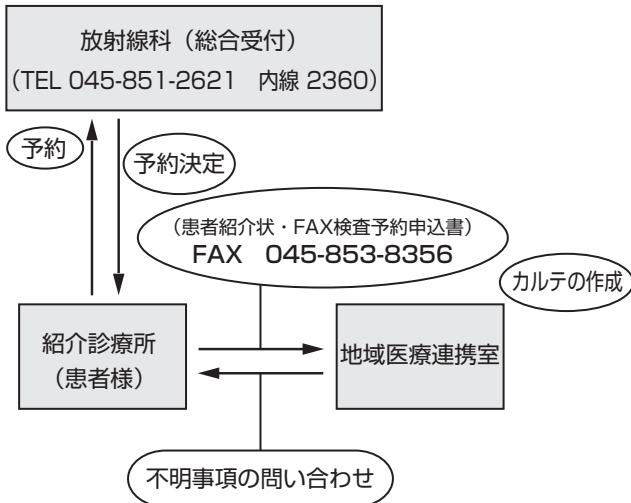
診察の予約紹介フローチャート

(事前)



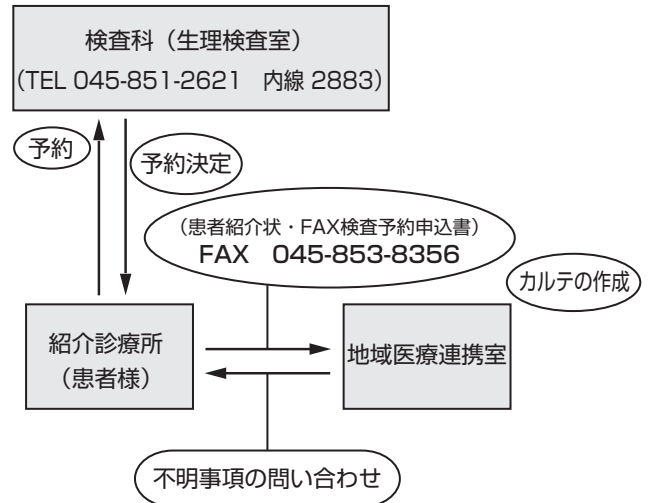
CT・MRI・RI検査予約フローチャート

(事前)



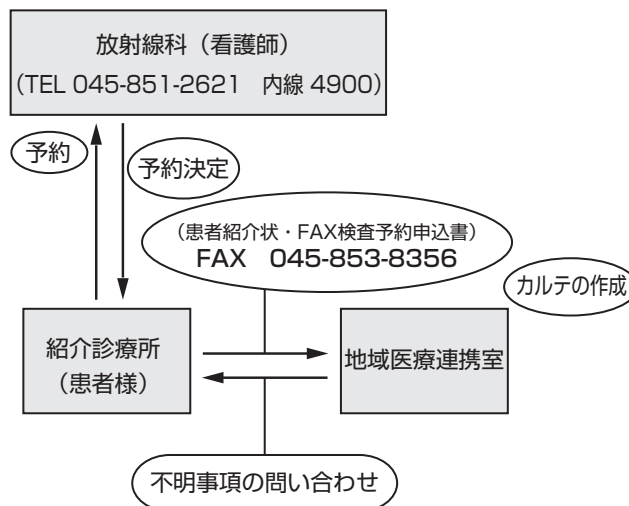
超音波・脳波検査予約フローチャート

(事前)



放射線治療予約フローチャート

(事前)



～1年を振り返って～

医療安全管理室が設置されて、丸1年を迎えました。この間には、ほとんど途切れることなくTV・新聞を通して、患者さまの誤認や薬剤の誤投与をはじめとした直接、生命にかかわる事故が報道されています。

これらの報道情報を我が身に置き換えて、医療安全管理室では医療安全推進活動の一環として、医療安全管理室便りやニュース速報の発行を行ってきました。また、看護部医療事故防止委員会では毎月、安全対策目標を作成して、職員の啓蒙や注意喚起に役立ててきました。

特に医師や看護師はまかり間違えば、医療事故が発生しかねないほどの数十の診療処置を扱っていることから、問題なく終えるためには確認の上にさらに再確認することが必要であること、ひとり一人が大丈夫か、間違いはないか、自問自答をしっかりとすることが急所と考えられます。

患者さまの診療への参加については、ネームバンドの着用をはじめとして、お名前を名乗っていただき、誤認防止に役立てています。今後も患者さまのご理解とご協力をお願いして、安全な医療サービスの提供ができるよう日々研鑽努力していきたいと思えます。

注射箋実施記録用紙を
クリアファイルに入れて
病室に持参。



ネームバンド着用のご案内



医療安全対策の観点から、患者様誤認による、事故発生防止を目的にネームバンドの着用をお願い致します。ご本人確認のため、検査ごと、処置ごと、投薬ごとにネームバンドによって、お名前を確認させていただきます。

●実際の使い方

- 1) ネームバンドは入院時、受け持ち看護師が説明を行い、お渡し致します。
- 2) ネームバンドには患者様ご自身でお名前を漢字でご記入ください。
- 3) ネームバンドは、看護師がお着け致します。もし、ご記入できない場合は、ご家族の方に、又は看護師が代筆を致します。
- 4) ネームバンドで、お名前を確認させていただきます。但し、手術や検査等を行うにあたり、師匠がある場合には、一時的に取り外させていただきます。
- 5) ネームバンドは、退院当日、退院手続きが終了して、お帰りになる際、はずさせていただきます。

花 ippaiの病院作りをめざして

こんにちは！地域の皆様に信頼され、選ばれる病院を目標に医療サービス向上委員会もできることから始めようと活動しています。外来受診時の相談、案内、患者さまの声を直接にお伺いできればと思い看護師が交代で総合案内をしています。

「花ippaiの病院」

患者様、職員の心の癒しになればと中庭に花壇の造成を試みました。今では、パンジー、スノーボール、なでしこ、ポピーの花が咲いています。「きれいに咲いているね」と面会にいらした家族と窓越しに眺めている姿をみて、石ころに悩まされながら花壇を造成し、本当に良かったと感じる瞬間です。

「入院して良かった」「とてもいい看護をしてもらった」患者様中心の人にやさしい医療を提供できるようにこれからも活動していきます。



横浜医療センター病例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科医長
045-851-2621（代）

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第3月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松消化器科医長・松島消化器科医長
045-851-2621（代）

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

～ お知らせ ～

戸塚糖尿病ネットワーク講演会

戸塚区医師会との共催で、糖尿病領域の専門家を招いて講演会を行っています。今年は、2月5日に松葉育郎先生に「インスリン治療における持続型インスリンアナログの臨床的意義について」を御講演いただきました。

6月には糖尿病性自律神経障害の講演会を予定しています。また11月に戸塚糖尿病ネットワークは3周年を迎えますので、特別記念講演会を開催します。



第一回 患者様用クリティカルパス

クリティカルパス委員会委員長 宇治原 誠

当院のクリティカルパスについて

当院ではクリティカルパスの作成、実行を推進しています。クリティカルパス（略してパス）は、患者様に渡される「患者様用パス」と、医師や看護師や他の医療スタッフが使用する「医療者用パス」が1セットになっています。今回は患者様用パスを説明します。

「患者様用パス」は、患者様が受ける診療行為とその日程を説明する書類です。これまでの医療でも、その説明はされていましたが、ほとんどは医師や看護師が、口頭で説明するものであり、患者様が十分に理解しているかという点、必ずしもそうではありませんでした。受ける診療行為がいつ始まりいつ終わり、どうなったら検査日程が終了する、または退院できる、ということが患者様にははっきりと知らされなかったわけです。これらのことが「患者様用パス」には記載されています。また検査費用や入院費用は前もって患者様に通知されるということはありませんでしたが、この費用の通知について、「患者様用パス」に盛り込むか、当院を含め全国のいくつかの病院で検討中です。近い将来、当院では「患者様用パス」に費用のことも記載したいと考えています。

「患者様用パス」には、診療行為の説明書であること以上に重要な役割があります。それは、患者様にも医療に参加していただくという発想です。われわれ医療スタッフはミスがないよう注意深く日々業務を行っていますが、患者様に「患者様用パス」で日々の診療行為をチェックしていただくことで、より完全な医療ができるのです。たとえば、パスには「検査のための特別食」と書いてあるのに、いつもの食事が出された、ということがもしあったとします。もしパスがなければ、患者様は間違いに気付くことはなく、いつもの病院食を食べてしまう。後で医療スタッフが気づいたときにはもう遅く、次の日に予定されていた検査を延期せざるを得なくなってしまうのです。このときもし「患者様用パス」があれば、患者様が、食事の間違いに気づき、看護師に連絡することで、正しい検査食がとどけられ、検査は予定通り行われ、入院期間が延長されることもないのです。

このようにパスはいい事づくめのように思えます。実際その通りなのですが、全部の医療行為でパスが作成、実行できるかというとそうではありません。意識がない患者様や大怪我をされている患者様、様態が急変する可能性が高い病気の患者様、小児の患者様にはパスの作成、実行は難しいのです。しかし、「患者様用パス」の考え方（診療行為の経過説明と患者様による診療チェック）は正しいことですので、たとえ「患者様用パス」が作成されない疾患でも、それに代わる、丁寧な説明や診療体制が必要であるのはいうまでもありません。



時節の SPRING 病 気

花粉症について



耳鼻咽喉科医長
山田 昌宏



今年もまた花粉症の季節になりました。皆様がこの原稿をお読みになられるころはシーズン真っ只中と思います。昨年冷夏のために、今年のスギ花粉飛散量は平年よりかなり少なめという予測も出され、花粉症の方々には朗報でした。今のところ（3月上旬）は、いつもの年に比べて来院される方の数も確かに少ないという印象です。しかし、なかには既にひどい症状の方もいらして、そういう方を診ていると飛散量の多い少ないということも大切ですが、それ以上に個々の感受性や反応性が重要だと強く思われます。つまり少ない花粉でも症状が出てしまう方や少ない花粉でも強く症状が出てしまう方がいらっしゃるということです。

現在、花粉症の治療は薬物治療が一般的です。特にそのような感受性・反応性の高い方は初期療法といって、症状の出る少し前から内服を開始しておくことを勧めます。また例年、薬物治療のみではコントロールの難しい方にはレーザーや超音波メスなどを用いた手術療法（凝固療法）を季節前に施術することもあります。そして、薬物治療と同時に抗原の回避・除去ということも忘れてはいけません。洗濯物やふとんを外に干したりしていませんか？また、花粉情報を参考にして外出するときの対策をしっかりと考えましょう。そして帰宅したときに室内に花粉を持ち込まないような配慮や室内の掃除を励行することも大切です。とくに今年の花粉症でお悩みの方は、本物の花粉症の方だと思われるので、来シーズンのお役に立てば幸いです。

糖尿病フェアのお知らせ

日本人の8人に一人が、糖尿病か糖尿病の可能性があると、昨年発表されました。糖尿病は今や日本の国民病なのです。当院では昨年から「糖尿病フェア」を開催しています。今回は5月19日（水）午前9時から大会議室で開催する予定です。糖尿病の患者様、ご家族はもちろん、糖尿病について知りたい方はぜひお立ち寄りください。血糖測定、体脂肪測定コーナー、食事、おやつ、レシピの展示、運動レッスン、その他いろいろな企画を計画しています。

連絡先 宇治原内科医長
045-851-2621（代）



～ 附属看護学校第39回卒業式 ～



看護学生としての3年間の学びを終え、新たなスタートラインに立った今、希望と不安とに満ち溢れています。これから看護師として働いていく上で私は、患者様や家族の方の意志を尊重した、患者様中心の看護を行っていきたく

と思います。また、在宅で療養生活を送られる方も増えてきている今、施設内だけでなく地域との連携が今以上に必要になると思います。私は将来的には訪問看護師として、地域での看護活動に携わりたくと考えています。施設内・外を問わず、患者様や家族の方が納得のいく医療や看護を受けることが出来るように、看護師として自分に何が出来かかを常に考えながら、看護を実践していきたいと考えています。

これから看護師として、また一社会人として医療の現場で働いていくなかで、悩むことや戸惑うことも多々あると思います。しかし、患者様にとって最も良い看護が出来るよう、初心を忘れずに、日々励んでいきたいと思っています。

（第39回生 石川 恵美）

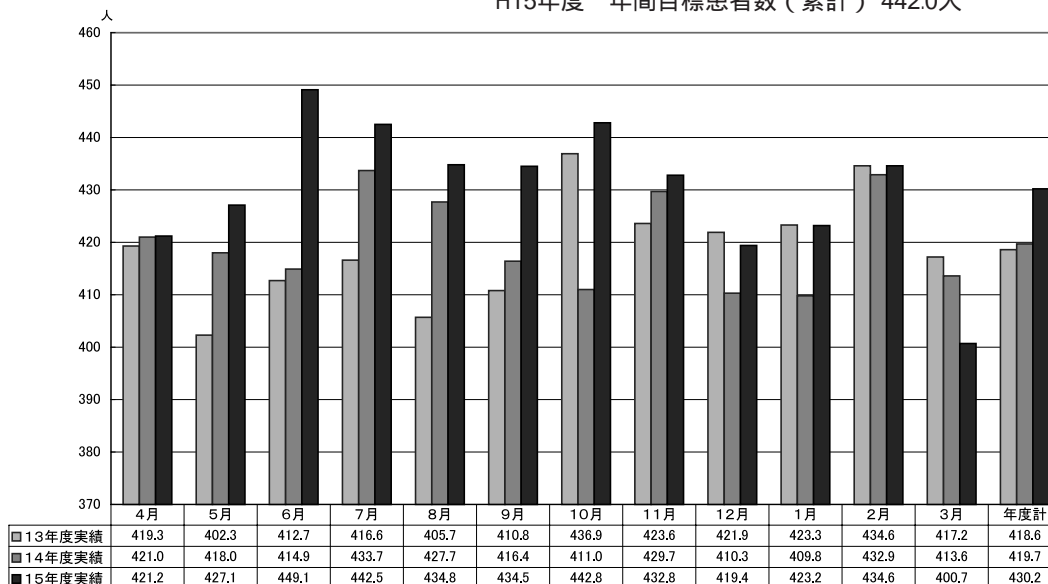
平成16年3月2日撮影



患者数の動向

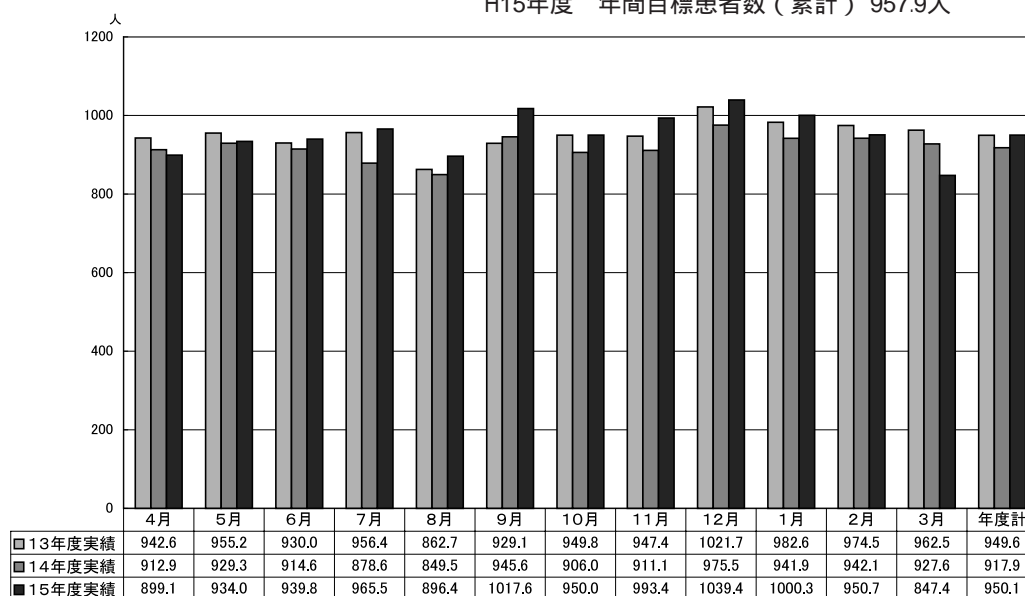
入院患者数年度別月別比較（H15年3月31日現在）

H15年度 年間目標患者数（累計）442.0人



外来患者年度別月別患者数（H15年3月31日現在）

H15年度 年間目標患者数（累計）957.9人



編集後記

理由はよくわからないのだが、毎年冬になると胃が痛む。この冬も痛くなったので、胃カメラを飲んだ。あまり苦しくないという好評判の当院の胃カメラ検査ではあるが、まったく苦しくなかったかというところではなく、ちょっとは苦しかった。ナイーブなので、他の人は大丈夫でも敏感に苦痛を感じとってしまうのだ。胃カメラの最中、苦痛が極限に達し、胃カメラの管を自分の手で引き抜きたい衝動に駆られた。管には手が届く。しかしここで抜いたら病院中の笑いものだ。「医者のかせに」という嘲笑の顔が、開けられないまぶたに浮かぶ。我慢の限界が近くなった。その時、検査に付き添っていた看護師が、背中をさすったり、たたいたりしながら、やさしい、穏やかな声で「大丈夫ですよ、もう少しですよ」と声をかけてくれた。苦痛は和らぎ、胃カメラは順調に終了した。

声をかけることや背中をさすることには物理的には苦しみを和らげる効果はないかもしれない。しかし、医療の現場では患者の痛み、苦しみを軽くする効果は確実にあるということを実感した。自分の苦しみを、分かってくれる人がそばにいるということが癒しになるのだと思う。看護師だけではなく、われわれ医師にも大切なことだと思った。

（編集委員 宇治原 誠）

国立病院横浜医療センター 外来診療担当医表

平成16年4月1日～

| 診療科・曜日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 備考 |
|-----------|---------------|-------------------|-------------------|----------------|------------------|---|
| 総合内科・初診 | 笠木陽子 | 交代医師 | 高木 佐知子 | 青木昭子 | 青木昭子 | △：午後のみ診療 |
| 内 科 | 高木佐知子 | 松井英恵 | 宇治原 誠 | 宇治原 誠 | 笠木陽子 | ▲：紹介状持参の方のみ |
| 神 経 内 科 | 上木英人 | △山口滋紀 | 検査日 | 上木英人 | 検査日 | |
| 呼 吸 器 科 | 椿原基史 | 検査日 | 村上修司 | 検査日 | 椿原基史 | |
| 消 化 器 科 | 清水 健 | 塚田百合子 | 松島昭三 | 磯野悦子 | 小松達司 | |
| | | △小松達司(肝) | 岸野真衣子 | 高山敬子 | | |
| 循 環 器 科 | 青嶋正彦 | 加藤丈二 | 田中直秀 | ▲田中直秀 | 岩出和徳 | |
| | 巽 藤緒 | 岩出和徳 | | | 鈴木豪 | |
| アレルギー科 | 青木昭子 | 検査日 | 検査日 | △桐野洋平 | 桐野洋平 | △：午後のみ診療 予約制 14:00～16:00 |
| 心 療 内 科 | 検査日 | 久保田真司・上原久美 | 検査日 | 小澤篤嗣 | 検査日 | 完全予約制。受診希望の方は事前にお問い合わせ下さい。 |
| 精 神 科 | 久保田真司 | 小澤篤嗣 | 上原久美 | 久保田真司 | 小澤篤嗣 | |
| | 加藤英之 | | | | | |
| 小 児 科 | 伊部正明 | 福山綾子 | 伊部正明 | 友野順章 | 渡辺由佳 | |
| | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | |
| | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | 交代医師 | |
| 外 科 | 若杉純一 | 西山 潔 | ◇大滝修司 | 土井卓子 | ◆高橋俊毅 | ◇：第2・第4水曜日 予約制 |
| (外来手術日) | 佐藤靖郎 | 長嶺弘太郎 | 口 急患・新患のみ | 牧野洋知 | ◆山本俊郎 | ◆：予約制 |
| | | | 大田郁子 | 坂本和裕 | | |
| 整 形 外 科 | 三谷秀俊 | 日塔寛昇 | 三谷秀俊 | 日塔寛昇 | 日塔寛昇 | (受付時間) 初診・予約外再診とも 8:30～10:00 |
| | 樋口三郎 | 三谷秀俊 | 大関信武 | 樋口三郎 | 樋口三郎 | |
| | 藤原豊 | 大関信武 | 茅野真子 | 大関信武 | 茅野真子 | |
| 形 成 外 科 | 高瀬 税 | 手術日 | △高瀬 税 | 手術日 | 高瀬 税 | △：手術日のため午前のみ |
| 脳 神 経 外 科 | 急患のみ (手術日) | 松永成生 | 竹本安範 | 急患のみ (手術日) | 藤津和彦 | |
| | | | | | 宮原宏輔 | |
| 心臓血管外科 | 東館雅文 | 手術日 | 検査日 | 大野英昭 | 東館雅文 | |
| 皮 膚 科 | 坪井廣美 | 坪井廣美 | 坪井廣美 | 坪井廣美 | 坪井廣美 | |
| | 田辺健一 | 田辺健一 | 田辺健一 | 田辺健一 | 田辺健一 | |
| | 山本都美 | 山本都美 | 山本都美 | 山本都美 | 山本都美 | |
| 泌 尿 器 科 | 本田直康 | 本田直康 | 手術日 | 黒坂真二 | 本田直康 | |
| 産婦人科 | 中村秋彦 | 鈴木良知 | 糸数 功 | ▲中村秋彦 | 外村光康 | ▲ 第1・3・5週。 第2・4週は検査日。 |
| 婦 産 | 糸数 功 | 外村光康 | 鈴木良知 | 糸数 功 | 中村秋彦 | |
| 眼 科 | 設楽幸治 | 設楽幸治 | 設楽幸治 | 設楽幸治 | 急患・新患のみ (手術日) | (受付) 初診・予約外再診とも 月～木曜日 8:30～10:00 新患のみ 金曜日 8:30～9:30 |
| 森 旅宇子 | 森 旅宇子 | 森 旅宇子 | 森 旅宇子 | 森 旅宇子 | | |
| 山田昌宏 | 山田昌宏 | 手術日 | 花村英明 | 山田昌宏 | | |
| 花村英明 | 花村英明 | | | 花村英明 | | |
| 放 射 線 科 | 栗原須生美 | 金原一弘 | 日下部きよ子 (甲状腺外来) | | 金原一弘 | ※注① 月・金曜日 8:30～11:00 ※注② 火曜日 13:30～15:00 ※注③ 診察日は放射線科にお問い合わせ下さい。 |
| ※注① | ※注② | ※注③ | | | ※注① | |
| 齒科口腔外科 | 塩入重彰 | 塩入重彰 | 手術日 | 塩入重彰 | 塩入重彰 | 新患(紹介状を持参して下さい)は、火・木曜日の午前8:30～10:00 再診(完全予約制)。 △金曜日は午前のみ |
| 丸山貴子 | 丸山貴子 | | | 丸山貴子 | 丸山貴子 | |
| 小児 | 発達(福山) | 感染免疫・せんそく (伊部) | 予防接種 (交代医師) | 乳児検診 (交代医師) | 喘息 (石田) | ※注④ 横浜市乳癌検診の受付：13:30～15:00 |
| | | 腎(中村) | ※第1週 | 乳癌検診 | 神経(筑丸) | ※第2週 |
| 外科 | | | | 癌化学療法外来 | | |
| 癌化学療法外来 | 癌化学療法外来 | 癌化学療法外来 | ストーマ外来 | 癌化学療法外来 | | |
| ※注⑤ | | | ※第2週 | | | ※注⑤ 担当医：土井、青木、坪井、磯野 女性医師の診察を希望される方は、科にこだわらず受診できます。な お、女性診療外来日以外に、皮膚科では月～金曜、外科では木曜に女 性医師が担当しておりますので、こちらの方もご利用下さい。 |
| 脳外 | | | 脳ドック (要予約) | | | |
| 産婦 | 母親教室 | | | 母乳外来 | | |
| 耳鼻 | 補聴器外来 | アレルギー外来 | | 補聴器外来 | 学童外来 | |
| 腫瘍 | | | | | | ※注⑥ 第2・3・4・5週：米田 13:30～ 完全予約制 |
| アレルギー | | | | | | |
| 循環 | パルスカカ外来 | | | | | ※注⑦ 第2・4週火曜日午後 必ず事前に連絡して下さい。 |
| | ※注⑦ | | | | | |

初 診 受 付：平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
再診(予約外)受付：平日8:30～11:00
但し、整形外科、眼科、放射線科は上表備考のとおり
休 診 日：土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認ください。

《表紙》

病院の名称は変わりましたが、桜は今年も変わらず咲き誇っています。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。

又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

